

「国際金融都市・東京のあり方懇談会」において今後検討すべき論点
(座長メモ)

1. 諸外国と比べて遜色のないビジネス面、生活面の環境整備
 - 税制の見直し
 - 我が国独自の業界慣行、規制等の見直し
 - 行政手続の英語対応
 - 金融に関する法制度等の相談体制の整備
 - 高度外国人材に配慮した生活環境整備
 - 投資教育の充実

2. 新たなプレイヤーの市場への参加促進
 - フィンテックの育成
 - 新興の資産運用事業者の育成（新興運用者育成プログラムなど）
 - 海外プロモーション体制の構築（東京版メイヤーの創設）
 - 金融に関する国際会議の招致

3. 世界の投資家に優しい市場の構築
 - 受託者責任（フィデューシャリー・デューティ）の徹底
 - コーポレート・ガバナンス・コードの遵守
 - 社債市場の活性化
 - 決済業務の革新
 - アジアの資金フローを取り込んだ金融ハブの実現